

精子酸化ストレス検査

酸化ストレスとは？

体内では活性酸素に対する防御機構によって、活性酸素の産生と消費のバランスが保たれています。

しかし、抗酸化作用（活性酸素を除去する仕組み）を上回る活性酸素が産生され、体が活性酸素による悪影響を受けてしまう状態を「酸化ストレス」と言います。

精子が酸化ストレスを受けると、**精子DNAの損傷（断片化）**や運動率の低下が起こり、受精率低下や胚発育不良、流産率の増加につながる可能性が報告されています。

タバコ、肥満、加齢、精神的なストレスなどが酸化ストレスの増える原因となります。

タバコ 肥満 深酒 不健康な食事 加齢
精神的ストレス 不規則な生活 睡眠不足 運動不足



酸化ストレス

精子のDNA損傷（断片化）

精子の質の低下

受精率低下 胚発育不良 流産率上昇

精子酸化ストレス検査とは？

精液中の酸化ストレスの強さを酸化還元電位として数値化し測定する検査です。

当院では MiOXSYS[®]という機械を使用し測定しています。

精子の酸化ストレスを測定することで、**男性側の隠れた不妊のリスク因子がわかる可能性**があります。

miOXSYS



MiOXSYS は、電気化学的手段によって酸化ストレス (static Oxidation-Reduction Potential: sORP) の原理に基づき、精液内の電子の移動を測定することで酸化ストレスを数値化する機械です。

※ 通常の精液検査と同時に行います。

精子酸化ストレス検査のみの実施はできません。

検査をお勧めする方は？

- 精液所見不良の方
- 精液所見に問題はないのに中々 妊娠に至らない方
- 低受精率や胚発育不良の方
- 流産を繰り返す方
- 噸煙習慣のある方
- ※ 35歳以上の男性は異常率が上昇するので推奨致します。

酸化ストレスを改善するには？

- 生活習慣の改善
- 抗酸化作用のあるサプリメント など
- ※ 酸化ストレスが基準値より高い場合、泌尿器科の受診をお勧めする場合があります。

費用

¥14,850 (税込)

※ 保険適用外の検査となります。